

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2013年第50週
(12月9日～12月15日)

- * 2013年12月18日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2013年11月)の疾患及び感染症豆知識
「H7N9鳥インフルエンザと治療」も掲載しています。

平成25(2013)年12月19日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2013年50週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		47週	48週	49週	50週	年累計	50週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							1
	結核	77	89	82	80	3,906	331	25,418
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
指定	鳥インフルエンザ(H7N9) *2							
三類	コレラ							4
	細菌性赤痢		1	2	1	34	4	140
	腸管出血性大腸菌感染症	4	2	2	2	380	134	3,974
	腸チフス		1	1		22		65
	パラチフス	1		1		20	1	48
四類	E型肝炎	1				30	1	113
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1				19	4	123
	エキノコックス症							17
	黄熱							
	オウム病					2		8
	オムスク出血熱							
	回帰熱							1
	キャサヌル森林病							
	Q熱					3		5
	狂犬病							
	コクシジオイデス症		1			4		4
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 *3						3	48
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱		1			4		13
	つつが虫病	1	1	1	2	12	22	309
	デング熱		1		2	65	3	238
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								
ニパウイルス感染症								
日本紅斑熱							173	
日本脳炎							8	

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		47週	48週	49週	50週	年累計	50週	年累計
四 類	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア		2			11	1	47
	野兎病							
	ライム病					7		19
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽					1		4
	レジオネラ症		2	1	1	78	14	1,084
	レプトスピラ症					5		28
ロッキー山紅斑熱								
2013/12/18集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 2013年5月6日より新たに追加指定された。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。2013年3月4日より新たに追加指定された。

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 80件 患者 54件、無症状病原体保有者 20件、疑似症患者 5件、感染症死亡者の死体 1件、年齢は10代 1件、20代 9件、30代 7件、40代 9件、50代 16件、60代 16件、70代 8件、80代 12件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 79件、米国 1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 1件 患者、年齢は60代、菌種はフレキシネル、推定感染地はインド、推定感染経路は経口感染であった。

腸管出血性大腸菌感染症 2件 患者 1件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO157 VT1・VT2 2件、年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は経口感染 1件、その他(不明) 1件であった。

〈四類感染症〉

つつが虫病 2件 患者 2件、年齢は60代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件であった。

デング熱 2件 患者 2件、年齢は30代 1件、50代 1件、推定感染地はインドネシア 1件、フィリピン 1件であった。

レジオネラ症 1件 肺炎型、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

※ 第49週該当分として〔三類〕腸チフス 1件、パラチフス 1件の追加報告があった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2013年50週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		47週	48週	49週	50週	年累計	50週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	2	6	3	179	13	1,001
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)		2	1	1	70	2	276
	急性脳炎 *1	1	1		2	46	3	344
	クリプトスポリジウム症					7	1	19
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1		1	19	5	201
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			2	35	2	195
	後天性免疫不全症候群	9	10	10	8	453	23	1,463
	ジアルジア症					21		79
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 *2	1		1		11	1	99
	侵襲性髄膜炎菌感染症 *2				1	11	2	20
	侵襲性肺炎球菌感染症 *2	1	5	7	9	106	19	893
	髄膜炎菌性髄膜炎 *3	/	/	/	/		/	2
	先天性風しん症候群	1			1	13		29
	梅毒	3	13	11	2	407	14	1,171
	破傷風					4		123
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					7	1	52
	風しん	6	4	4	5	3,436	15	14,323
麻しん	1	2			66	2	219	
2013/12/18集計								

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*2 2013年4月1日より新たに追加指定された。

*3 2013年4月1日より指定が解除された。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 3件 腸管 3件、年齢は30代 1件、50代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件、インドネシア又はフィリピン又は中国 1件、推定感染経路は同性間性的接触 1件、経口感染 1件、その他(不明) 1件であった。

ウイルス性肝炎 1件 B型、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は異性間性的接触であった。

急性脳炎 2件 病原体はヒトヘルペスウイルス6型 1件、病原体不明 1件、年齢は5歳未満 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、その他(感染後の再燃) 1件であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 古典型CJD、年齢は80代であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 A群 2件、年齢は50代 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は創傷感染(右手皮下組織壊死) 1件、その他(口腔抜歯後) 1件であった。

後天性免疫不全症候群 8件 無症候キャリア 8件、無症候キャリアの年齢は20代 3件、30代 3件、40代 2件、推定感染地は国内 8件、推定感染経路は性的接触 8件(同性間 7件、異性間 1件)であった。

侵襲性髄膜炎菌感染症 1件 血清型は未実施、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)、共同生活はあり(社員寮)であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 9件 血清型は不明 2件、未実施 7件、年齢は5歳未満 3件、50代 1件、60代 2件、70代 3件、推定感染地は国内 8件、台湾 1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 4件、その他(不明) 5件、肺炎球菌ワクチン接種歴は1回目から4回目まで接種済み 1件、1回目から3回目まで接種済み 1件、1回接種 1件、接種なし 2件、不明 4件であった。

先天性風しん症候群 1件 CRS典型例、年齢は5歳未満、母親の妊娠中の罹患歴は罹患あり(第12週、推定感染地は国内、風しん含有ワクチン接種歴は不明)であった。

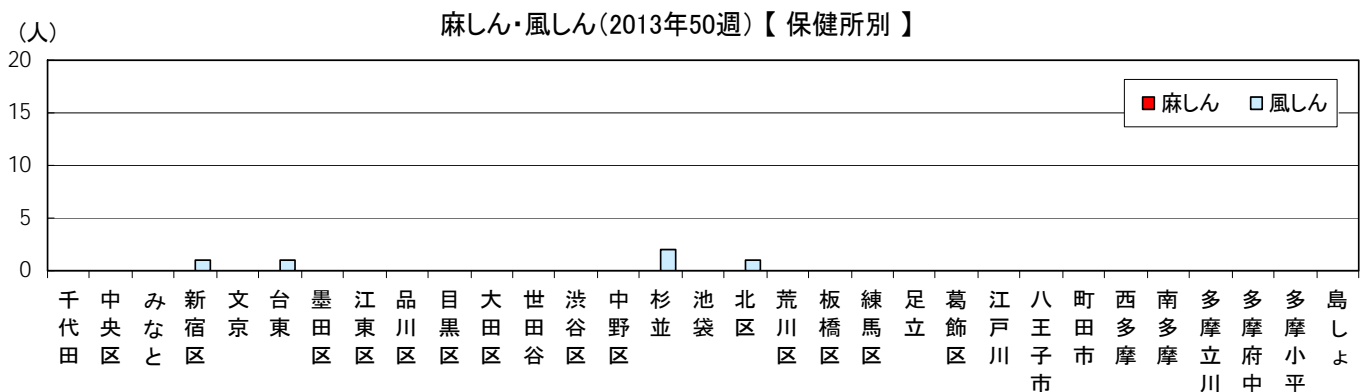
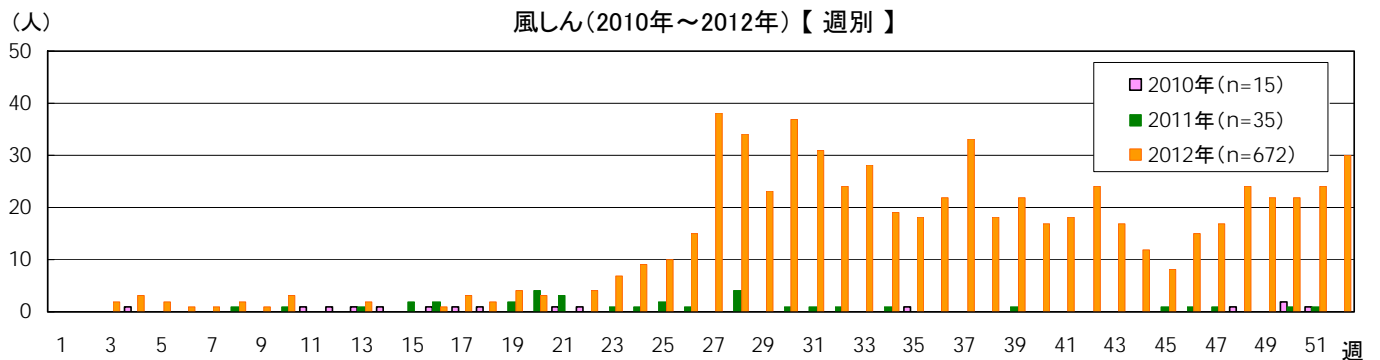
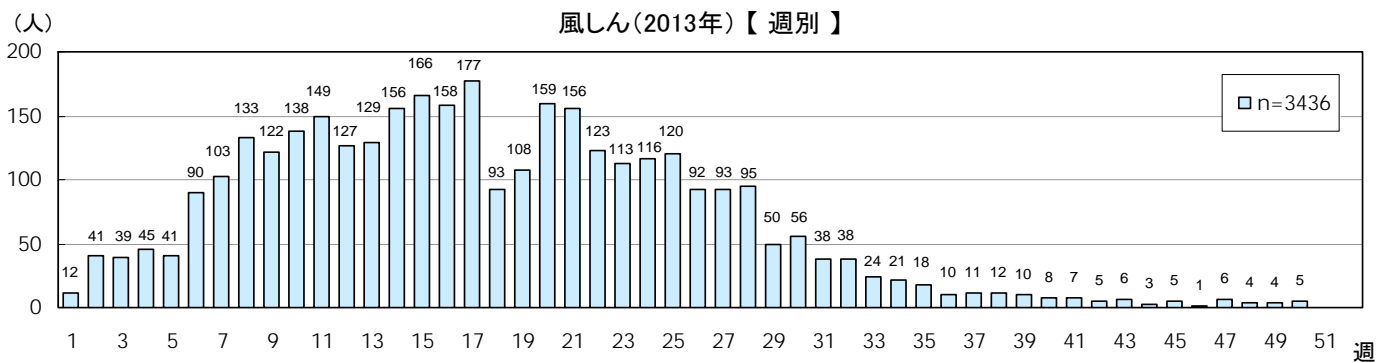
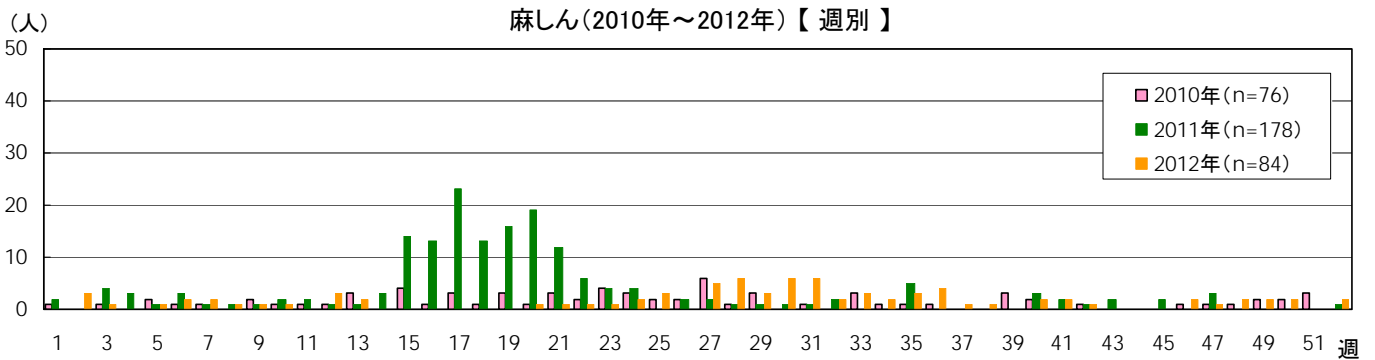
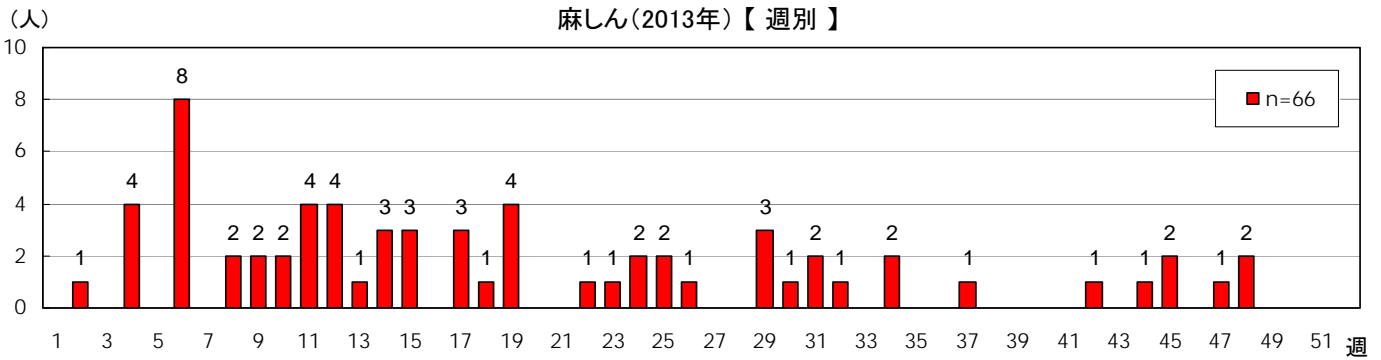
梅毒 2件 早期顕症梅毒 I 期 1件、無症候梅毒 1件、年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は性的接触 2件(同性間 1件、性別不明 1件)であった。

風しん 5件 検査診断例 3件、臨床診断例 2件、年齢は5歳未満 3件、20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 4件、その他(不明) 1件、風しん含有ワクチン接種歴は1回接種 3件、不明 2件であった。

※ 第48週該当分として〔五類〕麻しん 1件の追加報告があった。

※ 第49週該当分として〔五類〕梅毒 1件の追加報告があった。

全数把握対象疾患(麻しん・風しん)報告数(週別・保健所別)



定点把握対象疾患 報告数 2013年50週

定点種別	対象疾患	2013年					報告医療機関数	定点医療機関数
		47週	48週	49週	50週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	213	245	218	214	0.82	262	264
	咽頭結膜熱	130	172	154	157	0.60		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	434	536	606	671	2.56		
	感染性胃腸炎	2,297	3,946	5,598	6,939	26.48		
	水痘	252	351	348	400	1.53		
	手足口病	64	65	61	56	0.21		
	伝染性紅斑	24	44	62	59	0.23		
	突発性発しん	144	153	178	134	0.51		
	百日咳	2	1		4	0.02		
	ヘルパンギーナ	9	20	13	9	0.03		
	流行性耳下腺炎	40	40	56	44	0.17		
	川崎病 (注1)	4	5	6	4	0.02		
	不明発しん症 (注1)	17	16	10	15	0.06		
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	124	173	282	303	0.73	414	419
眼科	急性出血性結膜炎		1		1	0.03	38	39
	流行性角結膜炎	11	12	27	13	0.34		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	2	3		1	0.04	25	25
	無菌性髄膜炎	2	1	3				
	マイコプラズマ肺炎	13	9	7	10	0.40		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)							
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) (注4)	1	3	3	5	0.20		
インフルエンザ入院	4	1	2	6	0.24			

2013/12/18集計

- (注1) 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。
 (注2) 鳥インフルエンザを除く。
 (注3) インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。
 (注4) 病原体がロタウイルスであるものに限る。2013年42週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・RSウイルス感染症の定点当たりの報告数は過去5年平均と比較して高い値で推移している。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たりの報告数は5週連続で増加した。
- ・感染性胃腸炎の定点当たりの報告数は5週連続で増加し、25を超え過去5年平均と比較して高い値で推移している。
- ・インフルエンザの定点当たりの報告数は増加し0.7を超えた。

(定点医療機関からのコメント)

- | | |
|--|---|
| <p>墨田区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノロウイルス 1名 <p>大田区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬らしくなって来ました。感染性胃腸炎などが流行っています。 <p>世田谷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アデノウイルス迅速検査キット陽性 3名、アタマジラミ 1名 ・咽頭結膜熱以外でも、アデノウイルス迅速検査キット陽性 1名。 ・感染性胃腸炎は、週を追うごとに年齢が上がり、かつ、広範囲の年齢に分布するようになった。 ・ロタウイルス腸炎 1歳児 2名 感染性胃腸炎はピークです。 <p>荒川区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロタウイルス 4名、ノロウイルス 2名 アデノウイルス咽頭炎 2名 ・病原性大腸菌 O1 3例、O18 O91 各1例、O25 6例 | <p>池袋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染性胃腸炎流行中 <p>板橋区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染性胃腸炎の成人女性から、病原性大腸菌O86aを検出 ・カンピロバクター 1例 病原性大腸菌 O20 O126 各1例 <p>足立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アデノウイルス 5歳児 1名 <p>葛飾区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アデノウイルス扁桃炎 1歳児 3歳児 5歳児 20代 30代 各1名 <p>八王子市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アデノウイルス咽頭炎 1歳児 2名 <p>多摩府中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザA型の3名(3歳児)は、同じ保育園児。 ・インフルエンザB型の2名は、同じ幼稚園児。 <p>多摩小平</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロタウイルス腸炎 1名 病原性大腸菌 3名 アデノウイルス腸炎 3名 ノロウイルス腸炎 11名 |
|--|---|

※23保健所管内の定点医療機関からインフルエンザコメント多数あり。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2013年50週

定点種別	小児科										
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
～5か月	33			27	3			2	1		
～1歳	42	6		319	11	2		42		1	
1歳	77	20	3	922	40	12	5	68		2	2
2歳	37	17	25	611	53	6	2	13		1	
3歳	12	24	58	671	78	8	4	4		2	3
4歳	7	29	82	740	49	6	8	1			3
5歳	3	19	101	616	60	5	17	1			10
6歳	1	10	92	537	39	6	9	1			8
7歳	1	8	69	411	17	3	3				6
8歳		7	82	407	15	2	8	1			2
9歳		6	54	263	9	1	2	1		2	4
10～14歳		4	83	563	12	2	1		2	1	5
15～19歳			2	109	5	1					
20～29歳	1	7	20	743	9	2			1		1
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	214	157	671	6,939	400	56	59	134	4	9	44
先週比	-4	3	65	1,341	52	-5	-3	-44	4	-4	-12

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ入院
～5か月						1					1
～1歳		1	4							1	
1歳	1	4	12							1	1
2歳		2	10							1	
3歳	2	1	17	1				1			
4歳		2	15					1			
5歳	1	2	18							1	
6歳		1	25					2		1	
7歳			32								
8歳			17		1						1
9歳		1	23					2			
10～14歳		1	36					1			
15～19歳			11								
20～29歳			20		2			2			
30～39歳			35		6						
40～49歳			14		2			1			
50～59歳			13								
60～69歳					2						1
70～79歳			1								1
80歳以上											1
合計	4	15	303	1	13	1		10		5	6
先週比	-2	5	21	1	-14	1	-3	3		2	4

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2013年50週

定点種別	小児科										
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	0.33		0.33	15.00	0.33			0.33			0.33
中央区	0.33	0.33	2.33	19.00	1.33	0.33					
みなと	0.17	0.50	2.33	28.33	1.17	0.17	0.33	0.67			
新宿区	1.75	0.63	0.75	14.50	0.50		0.13	0.25		0.13	
文京	0.50	0.25	0.25	22.00	2.25		1.00	0.75			
台東	0.75	0.25	1.25	29.75	3.50	0.25		1.00		0.25	0.25
墨田区	0.80	0.20	1.60	17.20	2.20			0.60		0.40	0.20
江東区	0.11	0.67	2.56	45.89	1.33	0.44		0.78		0.11	0.33
品川区	0.38	0.25	0.88	26.13	0.75	0.25	0.75	0.38			0.13
目黒区		0.25	0.75	13.75	0.75		0.25				
大田区	1.23	1.00	2.31	29.38	2.92	0.69	0.46	0.38	0.08		0.15
世田谷	1.81	1.25	3.13	26.63	0.81	0.19	0.38	0.31		0.19	
渋谷区	0.50	0.50		19.50	1.00			0.25			
中野区			1.86	26.00	1.14		0.14	0.43			0.29
杉並	0.20	0.30	4.00	22.00	0.90		0.10	0.60			0.50
池袋	1.80	0.60	0.60	13.20	1.60		0.20	0.60			
北区	0.57		2.57	34.14	1.29			0.71			0.43
荒川区	2.75	1.00	4.00	46.75	1.25		1.75	1.00			0.25
板橋区	0.30	0.10	0.80	23.30	0.80		0.20	0.20			
練馬区	0.46	0.69	3.62	29.31	1.46			0.69	0.08		0.08
足立	0.62	0.46	0.92	35.38	1.23	0.15	0.08	0.46			0.23
葛飾区	0.38	0.75	1.63	41.75	1.63	0.13	0.38	0.50			
江戸川	0.36	1.00	2.18	30.45	1.45	1.09	0.55	0.36			0.55
八王子市	1.64	1.18	5.73	32.82	2.09	0.36		1.09	0.18		0.18
町田市	0.25	0.25	7.25	28.13	1.88	0.63		0.63			0.13
西多摩	0.63	0.25	1.00	14.63	0.88	0.13		0.13			0.50
南多摩	0.89	0.33	2.78	23.67	3.22			0.33			0.11
多摩立川	0.57	0.14	2.79	19.21	2.21	0.36		0.43		0.07	
多摩府中	0.86	0.90	3.05	20.57	1.24	0.05	0.19	0.62			0.14
多摩小平	1.87	1.13	4.33	29.13	2.13	0.07	0.40	0.67			0.20
島しょ				4.00		3.00	1.00				
東京都	0.82	0.60	2.56	26.48	1.53	0.21	0.23	0.51	0.02	0.03	0.17

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			1.25					1.00		0.50	
中央区			1.00		2.00						
みなと			0.33								
新宿区			0.55					0.50			
文京			0.29		1.00						
台東			0.29								
墨田区		0.20	0.38								
江東区		0.11	0.64								
品川区			0.33								
目黒区			0.71		3.00						
大田区	0.08	0.23	1.00								
世田谷		0.13	1.56			0.50		0.50			2.00
渋谷区			0.43					1.00		1.00	
中野区			0.09	1.00							
杉並			0.38								
池袋			0.50								
北区			1.18								
荒川区	0.25		1.00								
板橋区	0.10	0.10	0.31					1.00			
練馬区		0.08	0.75								
足立			0.50								
葛飾区			0.77							2.00	
江戸川			0.28		0.50						
八王子市		0.09	0.72		0.50						
町田市		0.13	0.31								
西多摩			0.21					2.00			
南多摩		0.11	2.14								
多摩立川			0.33					1.00		1.00	1.00
多摩府中	0.05	0.10	1.00		1.00						0.33
多摩小平		0.07	1.35		1.00			0.50			
島しょ											
東京都	0.02	0.06	0.73	0.03	0.34	0.04		0.40		0.20	0.24

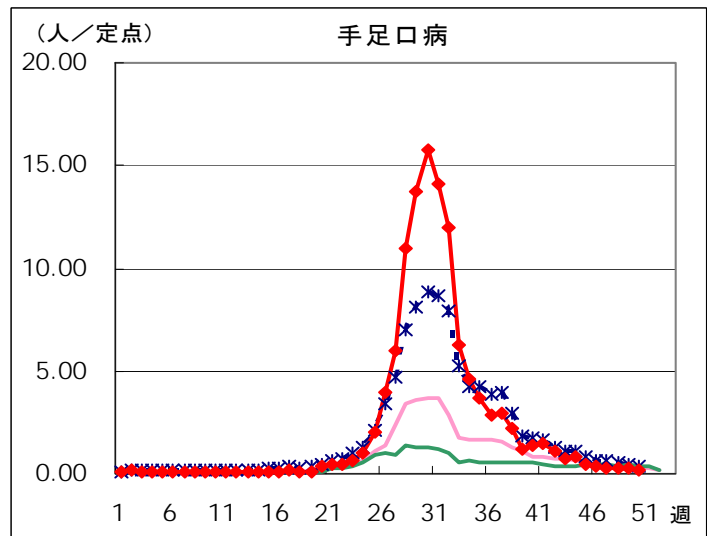
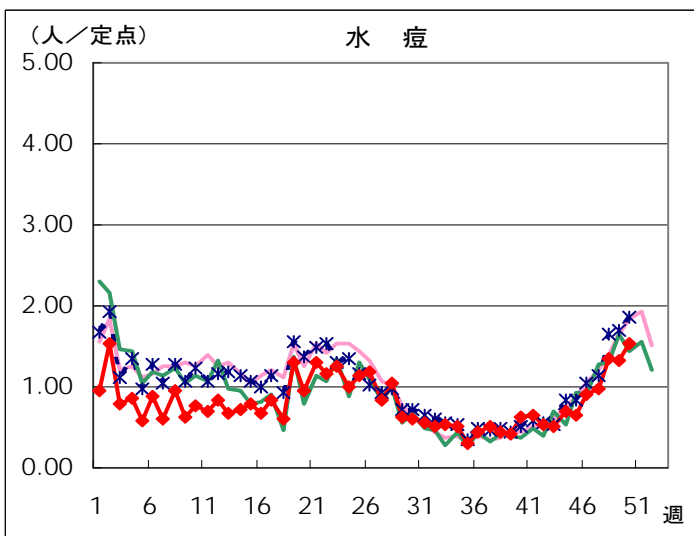
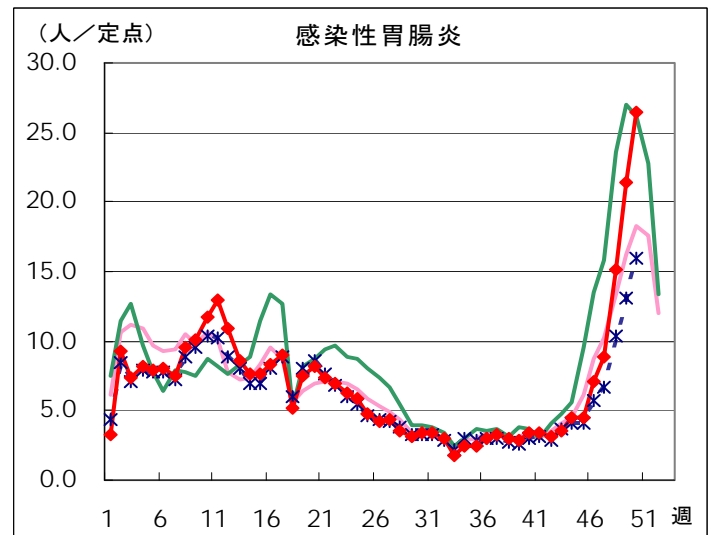
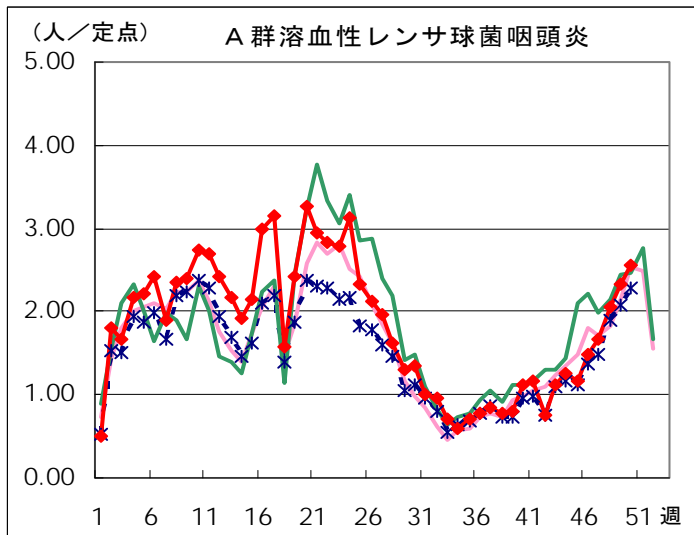
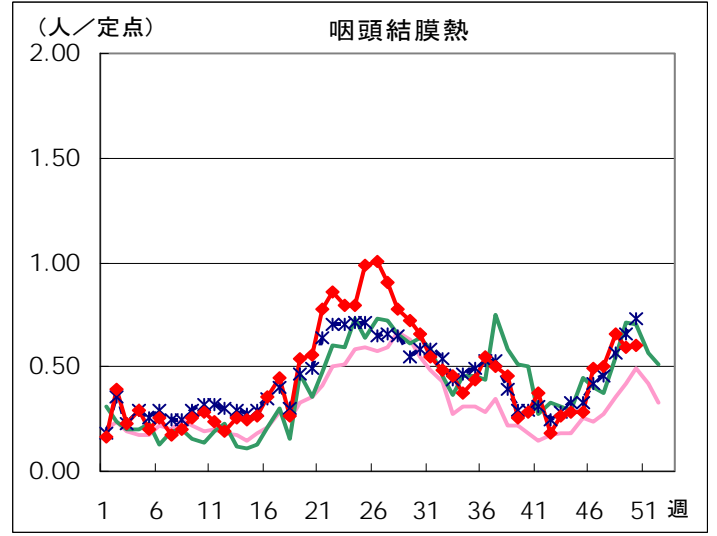
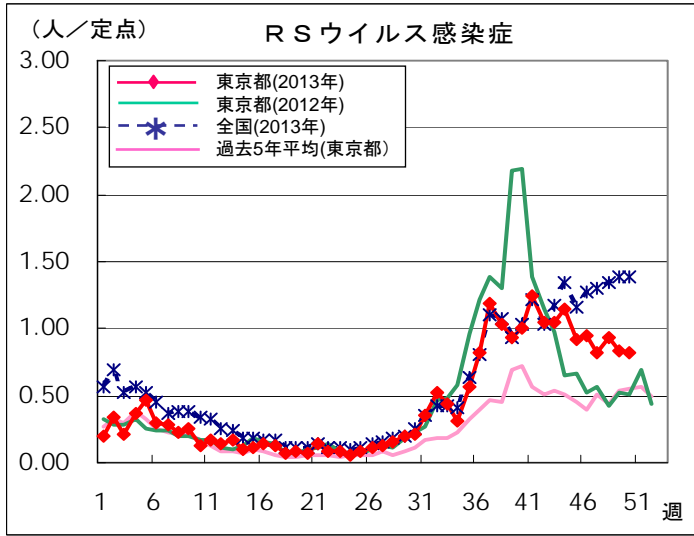
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2013年50週

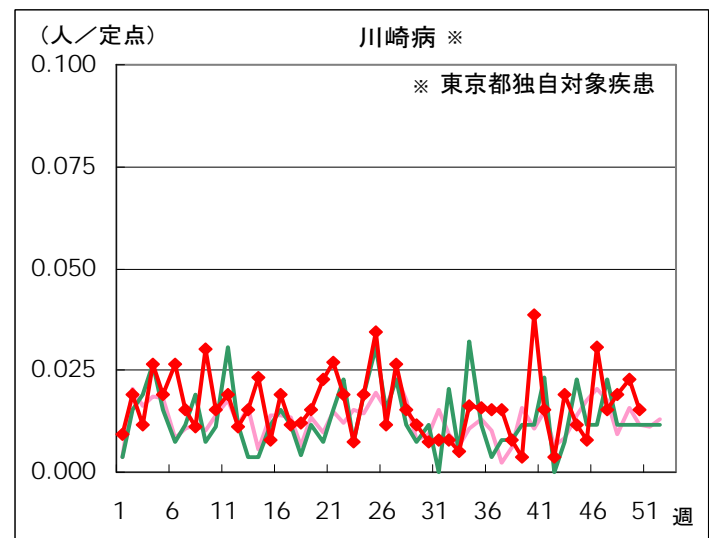
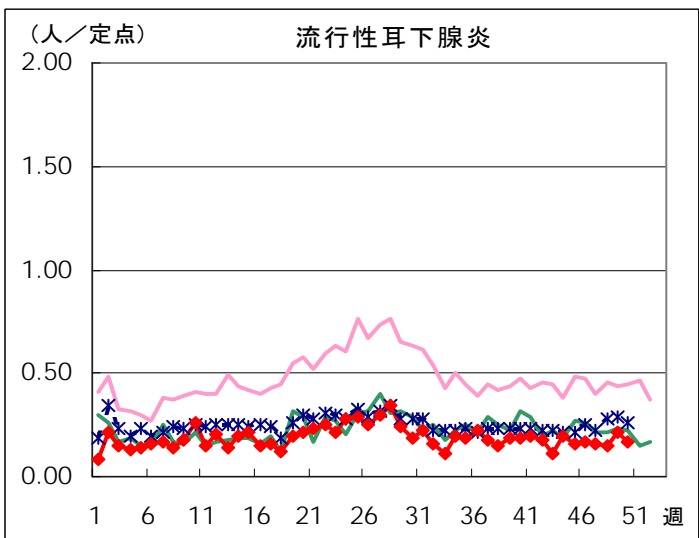
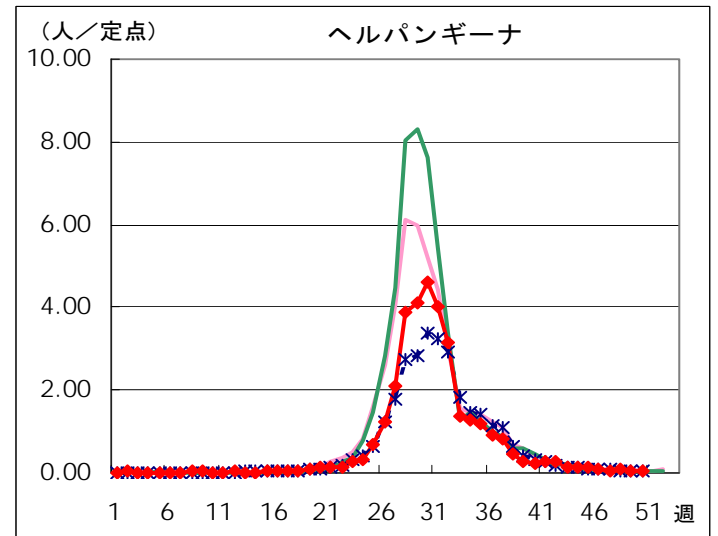
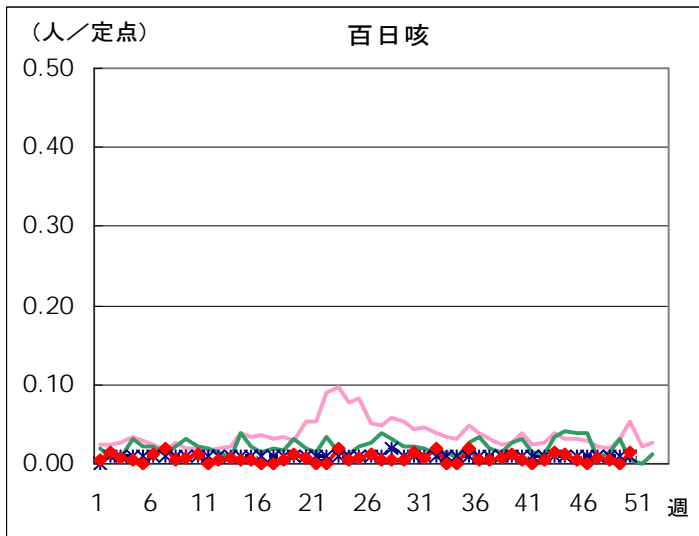
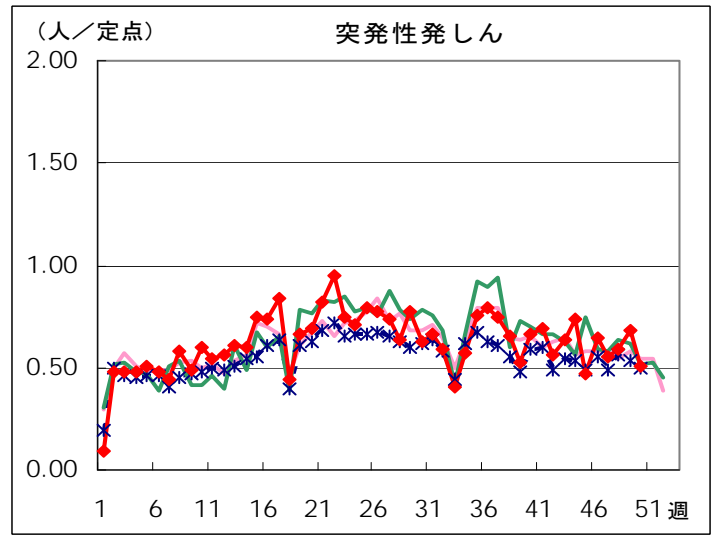
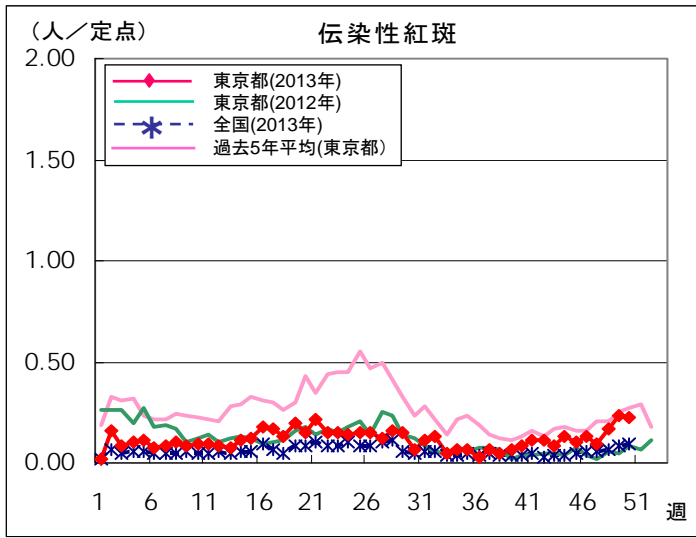
定点種別	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田	1		1	45	1			1			1
中央区	1	1	7	57	4	1					
みなと	1	3	14	170	7	1	2	4			
新宿区	14	5	6	116	4		1	2		1	
文京	2	1	1	88	9		4	3			
台東	3	1	5	119	14	1		4		1	1
墨田区	4	1	8	86	11			3		2	1
江東区	1	6	23	413	12	4		7		1	3
品川区	3	2	7	209	6	2	6	3			1
目黒区		1	3	55	3		1				
大田区	16	13	30	382	38	9	6	5	1		2
世田谷	29	20	50	426	13	3	6	5		3	
渋谷区	2	2		78	4			1			
中野区			13	182	8		1	3			2
杉並	2	3	40	220	9		1	6			5
池袋	9	3	3	66	8		1	3			
北区	4		18	239	9			5			3
荒川区	11	4	16	187	5		7	4			1
板橋区	3	1	8	233	8		2	2			
練馬区	6	9	47	381	19			9	1		1
足立	8	6	12	460	16	2	1	6			3
葛飾区	3	6	13	334	13	1	3	4			
江戸川	4	11	24	335	16	12	6	4			6
八王子市	18	13	63	361	23	4		12	2		2
町田市	2	2	58	225	15	5		5			1
西多摩	5	2	8	117	7	1		1			4
南多摩	8	3	25	213	29			3			1
多摩立川	8	2	39	269	31	5		6		1	
多摩府中	18	19	64	432	26	1	4	13			3
多摩小平	28	17	65	437	32	1	6	10			3
島しょ				4		3	1				
東京都合計	214	157	671	6,939	400	56	59	134	4	9	44

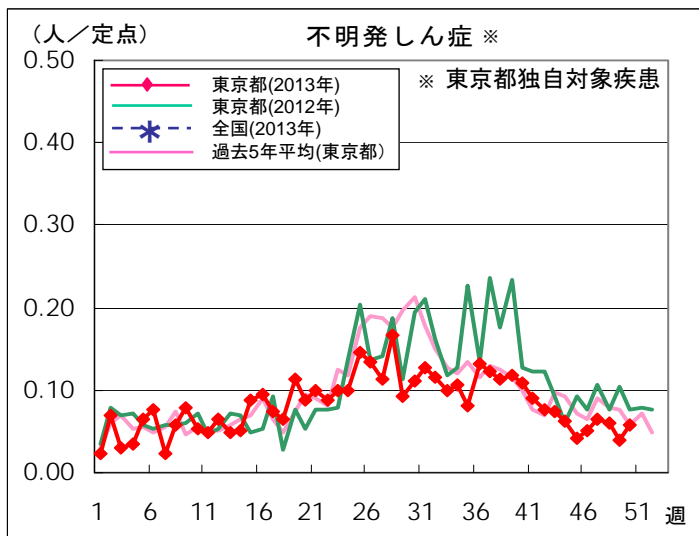
定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			5					2		1	
中央区			5		2						
みなと			3								
新宿区			6					1			
文京			2		1						
台東			2								
墨田区		1	3								
江東区		1	9								
品川区			4								
目黒区			5		3						
大田区	1	3	21								
世田谷		2	39			1		1			4
渋谷区			3					1		1	
中野区			1	1							
杉並			6								
池袋			4								
北区			13								
荒川区	1		7								
板橋区	1	1	5					1			
練馬区		1	15								
足立			10								
葛飾区			10							2	
江戸川			5		1						
八王子市		1	13		1						
町田市		1	4								
西多摩			3					2			
南多摩		1	30								
多摩立川			7					1		1	1
多摩府中	1	2	32		3						1
多摩小平		1	31		2			1			
島しょ											
東京都合計	4	15	303	1	13	1		10		5	6

定点把握対象疾患 週別報告数(2013年50週 現在)

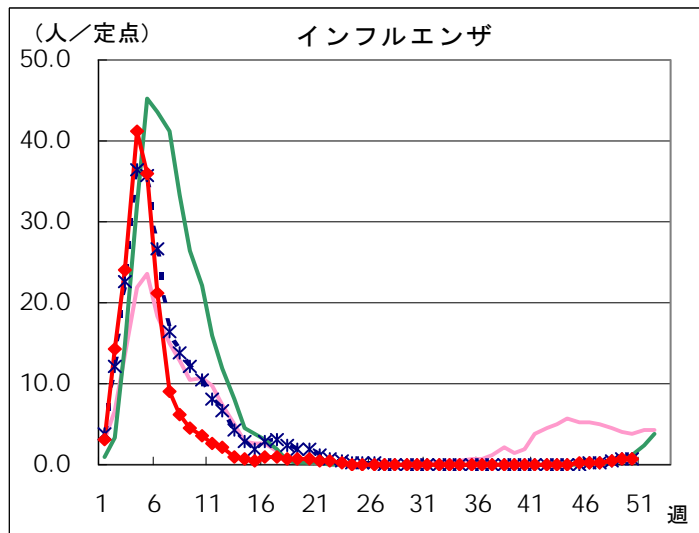
◆ 小児科定点



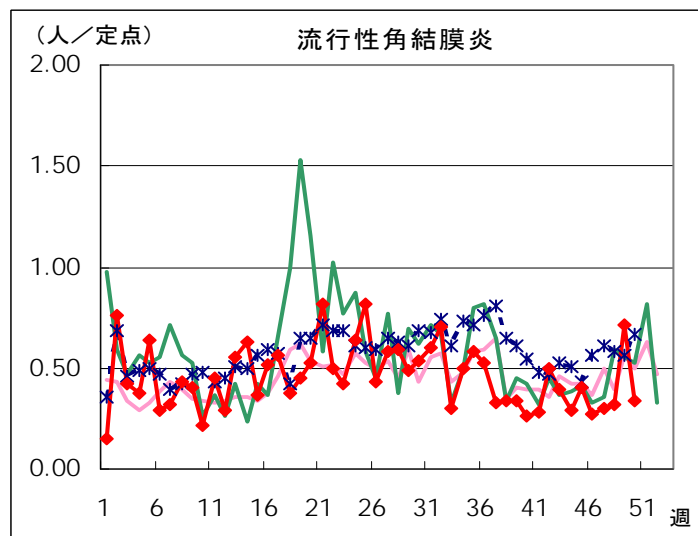
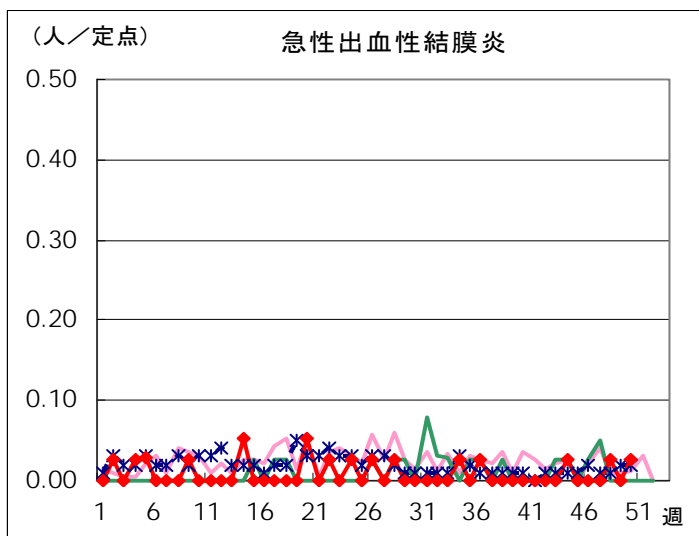




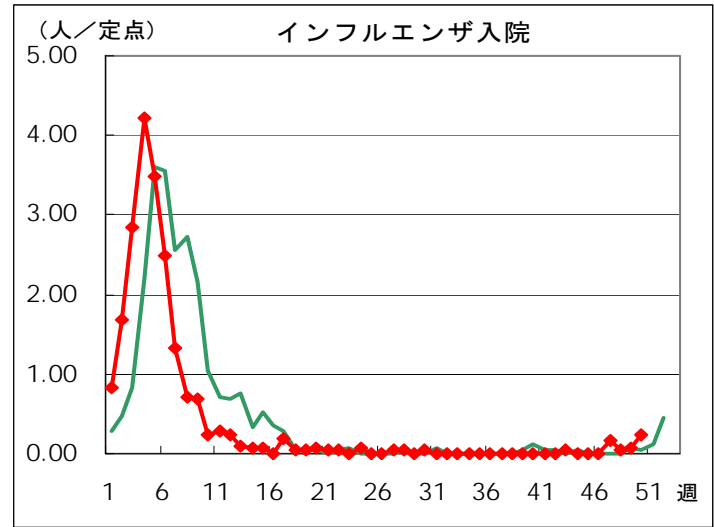
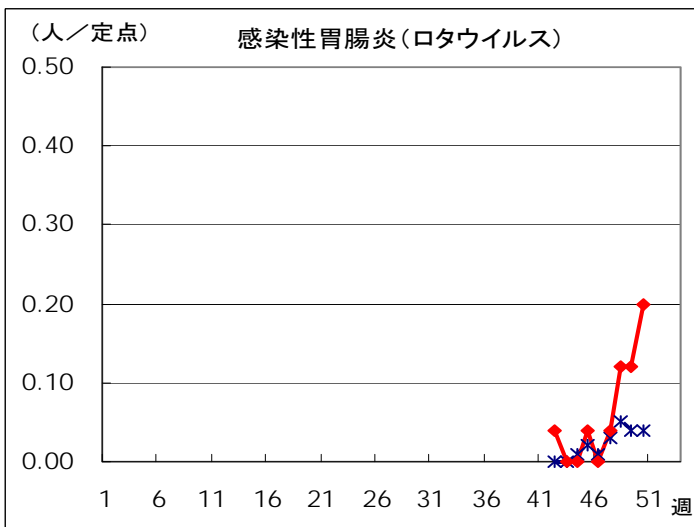
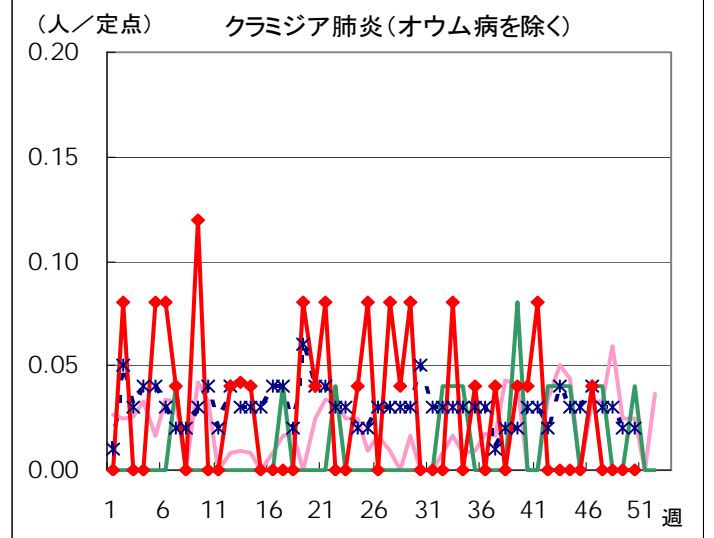
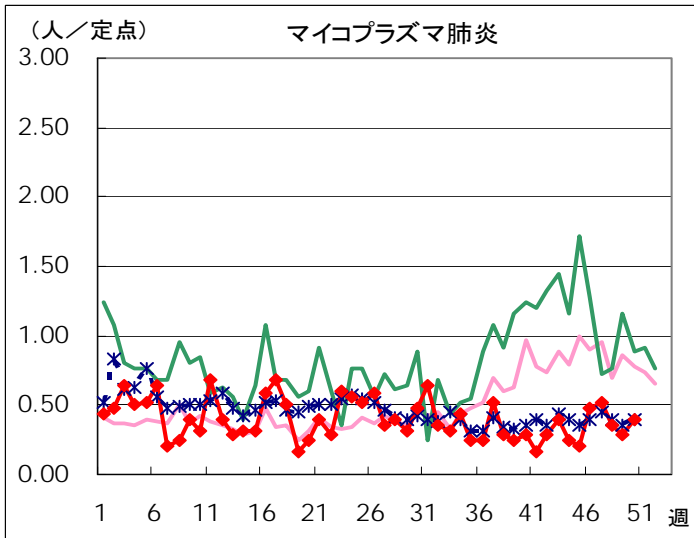
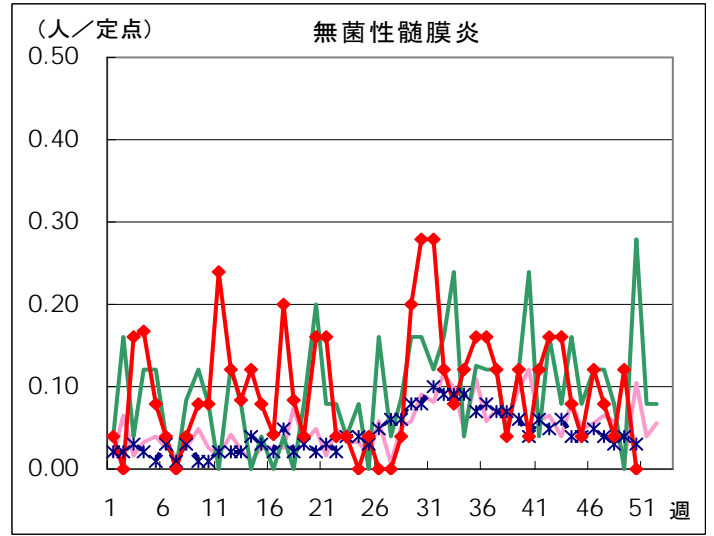
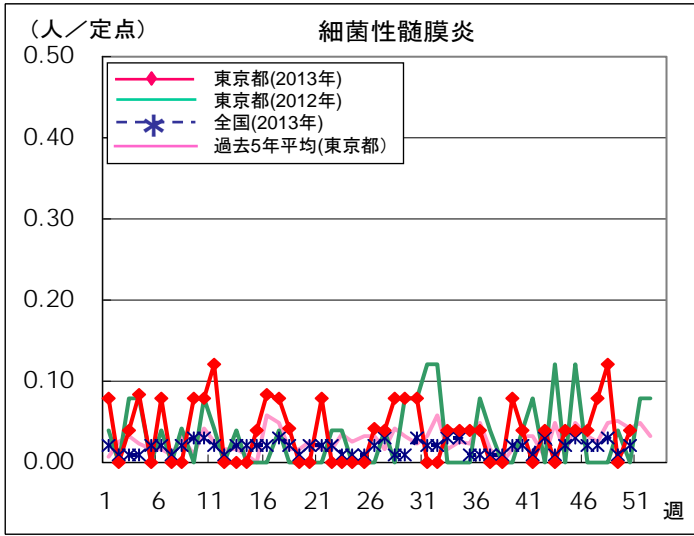
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
11/28	喘息性気管支炎	3M	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群16型	遺伝子
12/3	下痢症	7M	糞便	ノロウイルスGⅡ エンテロウイルス 71型	
12/5	インフルエンザ	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス B群3型	
11/29	細気管支炎 RSウイルス感染症	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/2	感染性胃腸炎	2	直腸拭い液	サポウイルス	
12/3	感染性胃腸炎	2	直腸拭い液	ノロウイルスGⅡ	
12/5	感染性胃腸炎	2	直腸拭い液	ノロウイルスGⅡ	
11/30	流行性耳下腺炎	2	咽頭拭い液	EBウイルス ライノウイルス	
12/6	気管支炎	3	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/2	手足口病	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス 71型	
12/3	伝染性紅斑	3	咽頭拭い液	ライノウイルス パルボウイルスB19	
11/27	肺炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	
11/30	感染性胃腸炎	4	直腸拭い液	ノロウイルスGⅡ	
11/30	手足口病	10	咽頭拭い液	エンテロウイルス 71型	

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

検出件数	AH1pdm09*型	AH1型	AH3型	B型
49週	1			
2013-2014年 シーズン累計**	1		5	4

* 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記を AH1pdm09 とします。

** 2013-2014シーズンの開始は第36週(2013年9月2日～)

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2013年							
		42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週
ウイルス	アデノウイルス	1	1			4	2	2	1
	ライノウイルス	2	2	3	5	3	4	5	2
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群	2	1			1	2	2	1
	コクサッキーウイルスB群	1		2		2			1
	エコーウイルス			2			1		
	エンテロウイルス71		2		1	1	1		3
	その他のエンテロウイルス	2		4	2	2	2	1	
	単純ヘルペスウイルス		1				1		
	水痘・帯状疱疹ウイルス		1		2				
	ヘルペスウイルス6/7	1	1		9	3	3	1	
	EBウイルス		1	1	1	1			1
	サイトメガロウイルス	1			1				
	ムンプスウイルス								
	麻疹ウイルス								
	風しんウイルス		1	1		4			
	パルボウイルスB19		1					2	1
	RSウイルス	2	3	3	2	3	3	1	2
	ノロウイルス		1		1	2	1	5	4
	ロタウイルス								
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3			1	1	2		1	
	インフルエンザウイルスB						2	2	
インフルエンザウイルスAH1pdm09								1	
デングウイルス(抗体を含む)									
その他のウイルス	1					1	2	1	
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	百日咳								
	マイコプラズマ								
	その他の細菌								
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2013年42週～2013年49週

臨床診断名 検出病原体		インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	へ ル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数		13	22	36	30	38	10		2	6	11	4	25	7	4		2	39	
ウ イ ル ス	アデノウイルス		2	1	1		4		2				1						
	ライノウイルス	1	1	8			3			1		1	3	2	2		1	3	
	ポリオウイルス																		
	コクサッキーウイルスA群		1	1	1					3			2					1	
	コクサッキーウイルスB群	1		1		3												1	
	エコーウイルス				1	1													1
	エンテロウイルス71				1						7								
	その他のエンテロウイルス		2	3	1	1	1				1		3						1
	単純ヘルペスウイルス					2													
	水痘・帯状疱疹しんウイルス														3				
	ヘルペスウイルス6/7		1								2		8						7
	EBウイルス		1											2					2
	サイトメガロウイルス													1					1
	ムンプスウイルス																		
	麻疹ウイルス																		
	風しんウイルス													5					1
	パルボウイルスB19												3	1					
	RSウイルス		4	15															
	ノロウイルス				13														1
	ロタウイルス																		
インフルエンザウイルスAH1																			
インフルエンザウイルスAH3	4		1																
インフルエンザウイルスB	2		1						1										
インフルエンザウイルスAH1pdm09	1																		
デングウイルス(抗体を含む)																			
その他のウイルス				5															
細 菌	カンピロバクター																		
	サルモネラ																		
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌																		
	溶血性レンサ球菌																		
	百日咳																		
	マイコプラズマ																		
	その他の細菌																		
その他の病原体																			

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2013年11月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり	合計	定点当たり	報告医療機関数	定点医療機関数
性感染症	性器クラミジア感染症	男	99	1.83	179	3.31	54	55
		女	80	1.48				
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	70	1.30	102	1.89		
		女	32	0.59				
	尖圭コンジローマ	男	61	1.13	88	1.63		
		女	27	0.50				
	淋菌感染症	男	78	1.44	98	1.81		
		女	20	0.37				
	膣トリコモナス症 *1	男			6	0.11		
		女	6	0.11				
梅毒様疾患	男	6	0.11	7	0.13			
	女	1	0.02					
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	男	48	1.92	74	2.96	25	25
		女	26	1.04				
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	男	14	0.56	33	1.32		
		女	19	0.76				
	薬剤耐性緑膿菌感染症	男	5	0.20	8	0.32		
		女	3	0.12				
	薬剤耐性アシネトバクター感染症 *2	男	2	0.08	4	0.16		
		女	2	0.08				

2013/12/17

*1 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(*Trichomonas vaginalis*)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

*2 2011年2月1日より新たに指定された。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症・基幹) 報告数【年齢階級別】2013年11月

男										
年齢階級	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	陰トリコ モナス症	梅毒様疾患	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症	薬剤耐性 アシネトバク ター感染症
0歳							4			
1～4歳							3	6		
5～9歳							1			
10～14歳										
15～19歳	5			3			1			
20～24歳	15	3	1	15			1			
25～29歳	25	10	7	18		1	1			
30～34歳	23	9	13	13		2				
35～39歳	9	11	12	14		1	2			
40～44歳	10	9	9	8		1	1			
45～49歳	7	10	11	2		1	2			
50～54歳	2	6	4	3						1
55～59歳	2	4	2	2			2		1	
60～64歳	1	4	1				2	1		
65～69歳		1					6		1	
70歳～		3	1				22	7	3	1
合計	99	70	61	78		6	48	14	5	2
先月数	137	73	54	82	1	16	37	15	3	
増減数	-38	-3	7	-4	-1	-10	11	-1	2	2

女										
年齢階級	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	陰トリコ モナス症	梅毒様疾患	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症	薬剤耐性 アシネトバク ター感染症
0歳							2	2		
1～4歳								8		
5～9歳							1	4		
10～14歳	1							1		
15～19歳	11	1	1	2	1		2			
20～24歳	24	5	9	8	1					
25～29歳	22	5	7	5	3		1	1		
30～34歳	13	5	2	3			1			
35～39歳	6	7	3				1			
40～44歳	2	1	1	2						
45～49歳		2	2				2		1	
50～54歳		2	2			1				1
55～59歳	1						1	1		
60～64歳		3					2		1	
65～69歳							1		1	
70歳～		1			1		12	2		1
合計	80	32	27	20	6	1	26	19	3	2
先月数	74	35	27	15	10		46	11	1	
増減数	6	-3		5	-4	1	-20	8	2	2

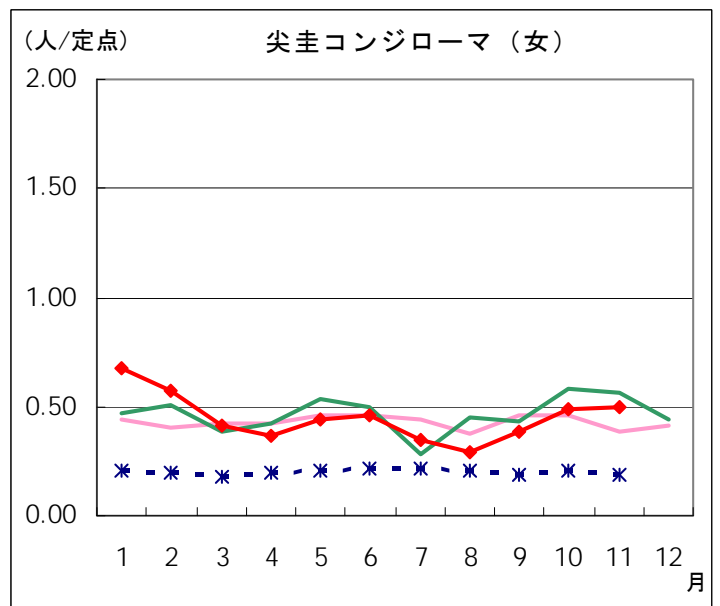
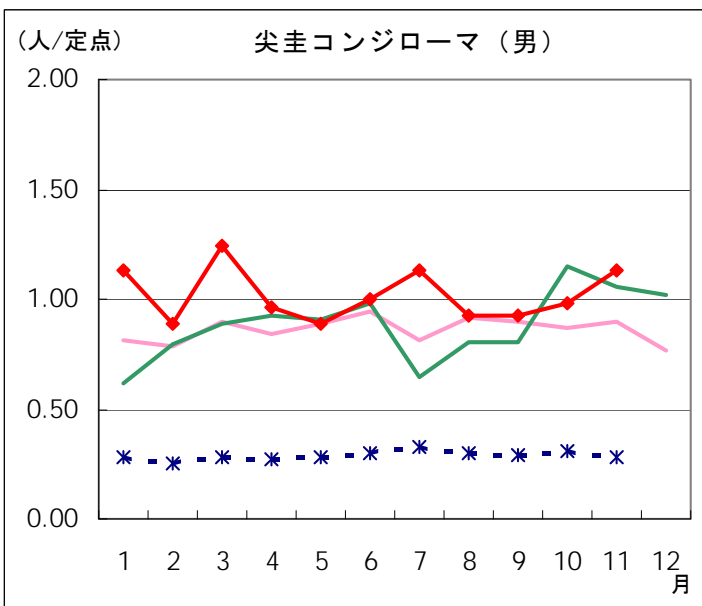
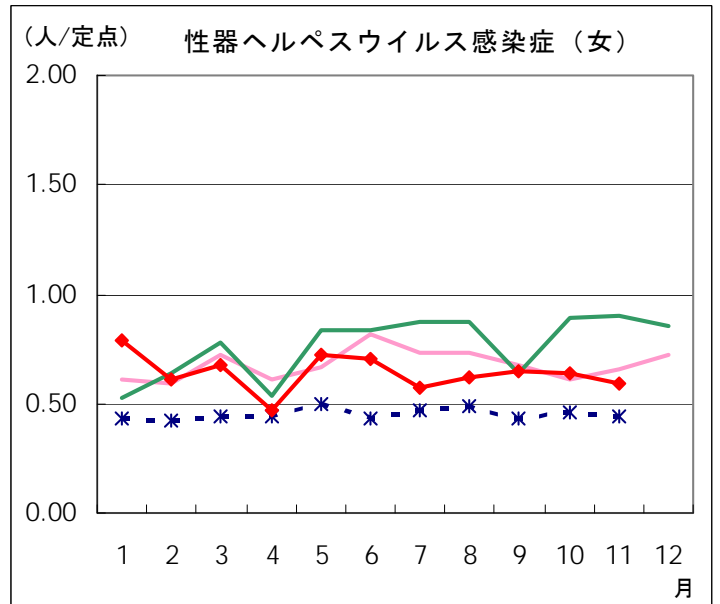
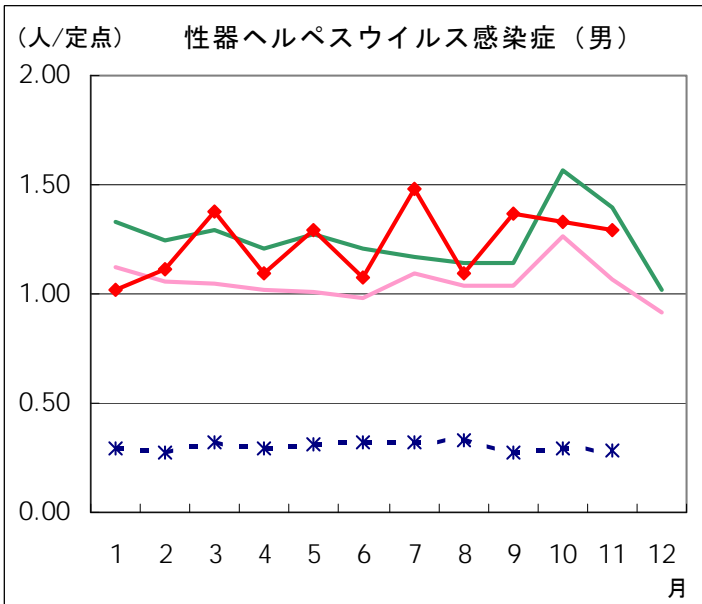
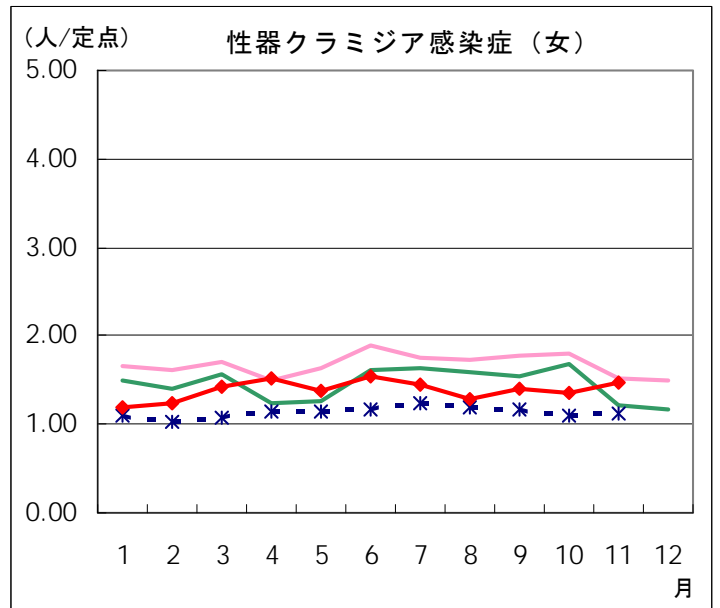
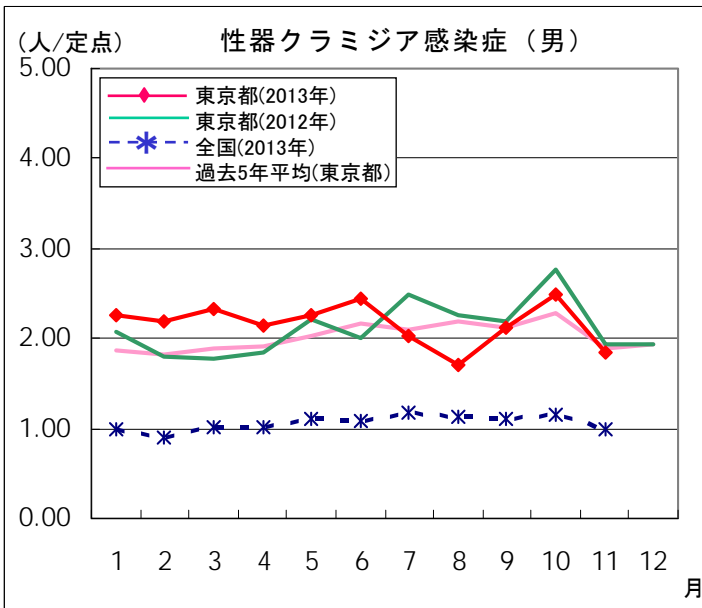
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数 【保健所別】 2013年11月

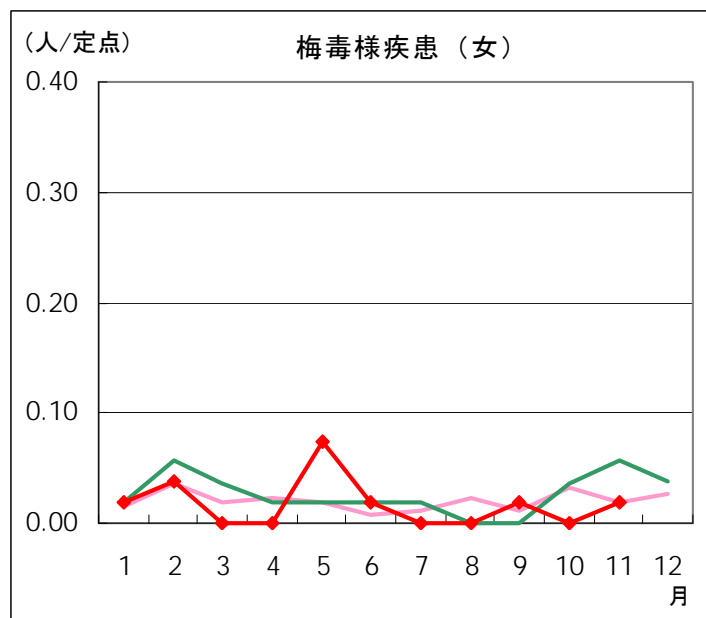
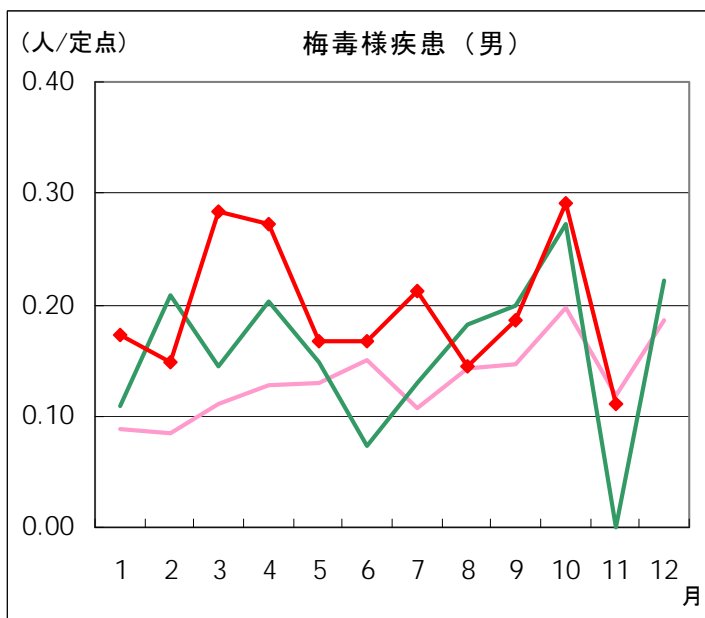
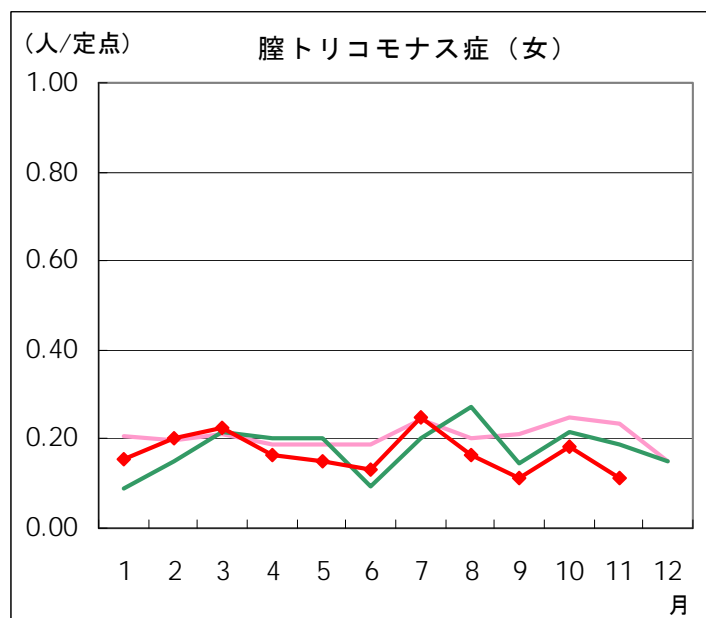
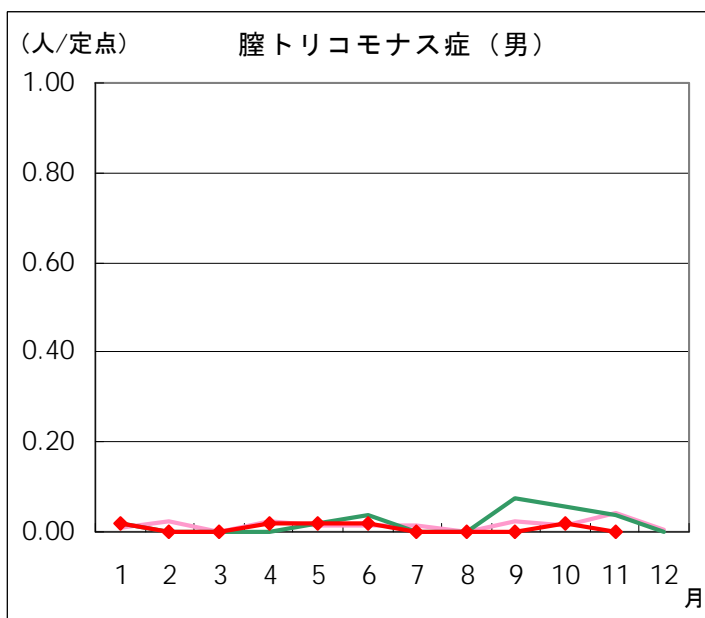
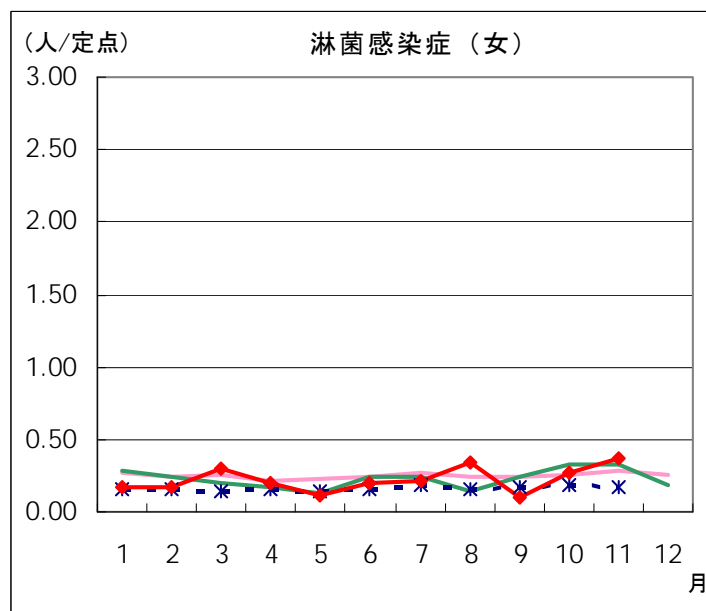
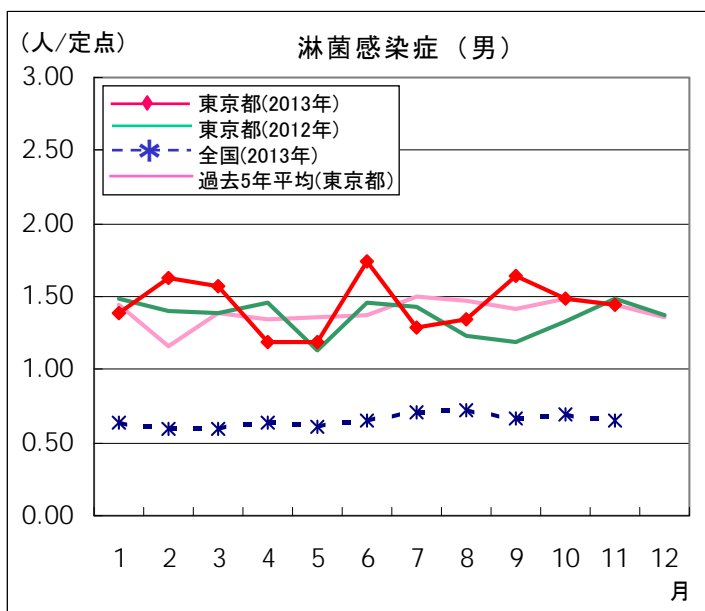
男								
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患	総 計
千代田	2	12		10	9			31
中央区	3	6	4	2	3			15
みなと	2	10	32	11	6			59
新宿区	7	18	14	24	23		4	83
文京	1	4	3	2	1			10
台東	2							
墨田区	2	1			2			3
江東区	2	12	8		11			31
品川区	1	2	3	2	6		1	14
大田区	2	4			2			6
渋谷区	4	4	2		1			7
中野区	2	3		1	1			5
杉並	2	8			3			11
池袋	3	11	4	4	5		1	25
北区	1	1		3	1			5
荒川区	1							
板橋区	2			1				1
足立	2				1			1
江戸川	2	1		1	2			4
八王子市	4				1			1
町田市	1							
多摩立川	2	2						2
多摩府中	3							
多摩小平	1							
合 計	54	99	70	61	78		6	314
定点当たり		1.83	1.30	1.13	1.44		0.11	5.81

女								
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患	総 計
千代田	2	1						1
中央区	3	1	3					4
みなと	2	2	4	2			1	9
新宿区	7	5	5	13	4			27
文京	1							
台東	2	3	1	1				5
墨田区	2	9			1			10
江東区	2							
品川区	1	2			2			4
大田区	2	5			1			6
渋谷区	4	5	7	3	1	1		17
中野区	2	1		1		1		3
杉並	2	2						2
池袋	3	4	3	1	3			11
北区	1							
荒川区	1	3						3
板橋区	2	4	2	1		1		8
足立	2	3			1			4
江戸川	2	3	2	2		1		8
八王子市	4	6	1		2	2		11
町田市	1	7	2		1			10
多摩立川	2	13	1	2	4			20
多摩府中	3			1				1
多摩小平	1	1	1					2
合 計	54	80	32	27	20	6	1	166
定点当たり		1.48	0.59	0.50	0.37	0.11	0.02	3.07

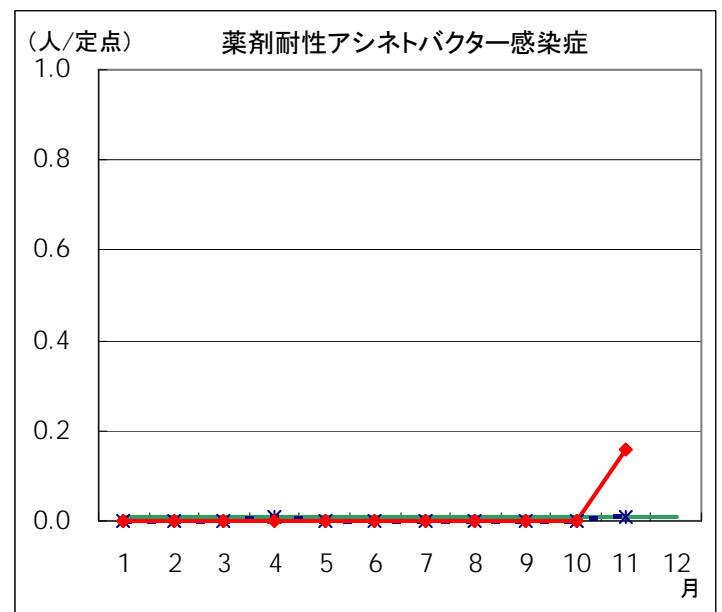
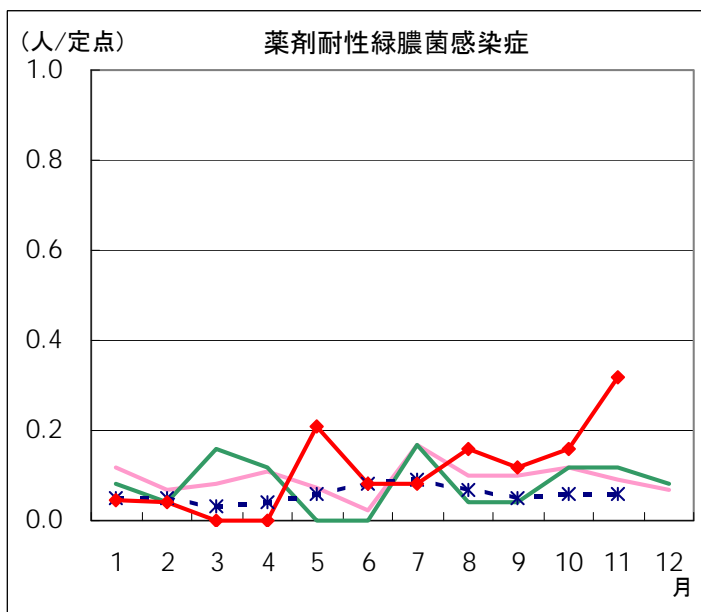
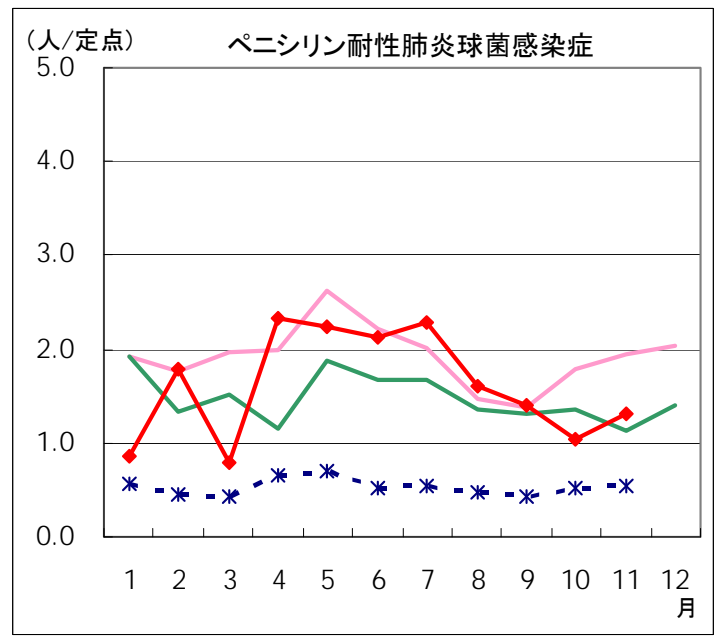
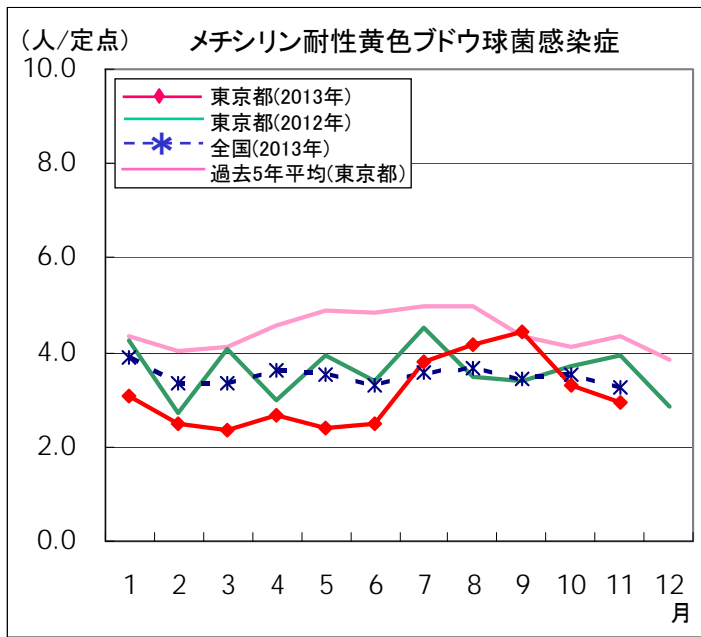
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2013年11月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇病原体検出状況

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
11/20	尿道炎	17	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	遺伝子
11/20	尿道炎	19	男	尿	クラミジア	
11/13	尿道炎	22	男	尿	クラミジア	
11/13	尿道炎	25	男	尿	淋菌	
11/6	尿道炎	25	男	尿	淋菌	遺伝子 分離同定
11/25	ヒトパピローマ感染症疑い	27	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 16型	遺伝子
11/6	陰茎ヘルペス	28	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	単純ヘルペスウイルス 2型	
11/27	陰茎ヘルペス疑い	28	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	単純ヘルペスウイルス 2型	
11/20	淋菌性尿道炎	29	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
11/20	尿道炎	31	男	尿	クラミジア	遺伝子 分離同定
11/27	尿道炎	32	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
11/13	尿道炎	33	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	
11/20	淋菌性尿道炎	33	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌 クラミジア ナイセリア属	
11/11	ヒトパピローマ感染症疑い	35	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 52型 ヒトパピローマウイルス 54型	遺伝子
11/13	尿道炎	36	男	尿	クラミジア	
11/8	尿道炎	41	男	尿	クラミジア	
11/11	性器ヘルペス	45	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	単純ヘルペスウイルス 1型	
11/1	尿道炎	45	男	尿	淋菌 クラミジア	
11/20	尿道炎	46	男	尿	淋菌	
11/6	淋菌性尿道炎	47	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
11/13	陰茎ヘルペス	54	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	単純ヘルペスウイルス 2型	
11/20	尿道炎	57	男	尿	クラミジア	
11/13	外陰部ヘルペス	61	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	単純ヘルペスウイルス 1型	
11/6	尿道炎	記載なし	記載なし	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	

<感染症豆知識>

H7N9 鳥インフルエンザと治療

2013年2月から中国で流行した H7N9 鳥インフルエンザは、H5N1 鳥インフルエンザと異なり、トリには重篤な症状を認めず、ヒトに重い症状を呈する。H5N1 のようにトリが死亡しないため流行がわからず疾病対策の点で問題となっている。

H7N9 鳥インフルエンザ感染者の臨床的特徴としては、①高齢者男性に多い、②感染者の 61.3%が高血圧、糖尿病、冠動脈疾患などの基礎疾患を有する、③生鳥との接触歴を 70%に認めることである。

中国ではインフルエンザの迅速診断キットは一般的でなく、今回の H7N9 鳥インフルエンザ感染者も原因不明の肺炎患者が多発したことから発見された。したがって抗インフルエンザ薬の臨床効果については不明であるが、得られた H7N9 鳥インフルエンザの大部分は抗インフルエンザ薬に感受性である。

現時点では H7N9 鳥インフルエンザに対する治療について明確な方針はない。米国 CDC は「H7N9 鳥インフルエンザの重症例における抗インフルエンザ薬の至適投与期間および投与量についてエビデンスはない。この場合投与期間はより長く（10 日程度）、投与量も免疫不全患者のインフルエンザ治療に準じて、オセルタミビルでは 1 回 150mg が推奨される（専門家の意見）」としている。

日本感染症学会でも「H7N9 感染症にも抗インフルエンザ薬の早期投与が基本であり、感染例（疑い例）にはオセルタミビルまたはペラミビルが推奨される」としている。国内に H7N9 鳥インフルエンザが発生した場合も、これらを参考に治療を行う必要がある。

（文責 東京都立駒込病院 味澤篤）